

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

都道府県名	愛知県
-------	-----

学校名及び規模

学校名	尾西市立三条小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	4	4	4	4	4	2	27	44
児童数	142	135	128	143	142	148	6	844	

研究の概要

1. 研究主題

<p>できる喜びと楽しさを味わいながら、進んで学ぼうとする子の育成 - 個を大切にしたい指導方法の改善を通して -</p>

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>2年生・算数科（チームティーチング指導） 個別学習を重視し、基礎的な学力を確実に児童に身に付けさせるため。 3年生～6年生・算数科 学力差が付きやすい教科・時期であるので、少人数指導（習熟度別学習指導を含む）により、能力にあったきめ細かな指導を行い、基礎・基本の定着と学習意欲の向上を図るため。 3年生～6年生・理科（チームティーチング指導） 観察や調べ学習において、児童一人一人の課題解決に対応したり、実験における安全を確保するため。</p>

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ できる喜びと楽しさを味わいながら、進んで学ぼうとする子の育成 - 個を大切にしたい指導方法の改善を通して -</p> <p>研究仮説 基礎・基本の定着を図り、個を大切にしたい「できる喜び」「わかる喜び」を味わうことのできる楽しい授業を展開すれば、学習に対して意欲的に取り組む子どもを育成できるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 基礎・基本の定着を徹底し、「わかる喜び」を味わわせること（理解する力）、物事を的確に判断し、自分なりに工夫して表現できるようにさせること（工夫する力）、前向きな学ぶ姿勢を身に付けさせ、次の学習へのやる気をもたせること（意欲）。以上3つの力を子どもたちに身に付けさせるため、個を大切にしたい授業の展開 わかる授業の展開 楽しい授業の展開を目標に次のような方法で研究実践をした。</p> <p>ア 算数科における少人数指導（習熟度別コース学習） イ 理科におけるチームティーチング指導 ウ 基礎学力定着のための「はげみ学習」の実施</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ できる喜びと楽しさを味わいながら、進んで学ぼうとする子の育成 - 個を大切にしたい指導方法の改善を通して -</p> <p>研究仮説 基礎・基本の定着を図り、個を大切にしたい「できる喜び」「わかる喜び」を味わうことのできる楽しい授業を展開すれば、学習に対して意欲的に取り組む子どもを育成できるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 算数科・理科を中心に わかる授業 楽しい授業 個を大切にしたい授業を展開し、子どもたちに基礎・基本を定着させ、学習意欲を向上させる。そのために、少人数指導の有効な指導方法・児童の学力の客観的な把握等の研究を推進する。</p>
--------	---

(3) 研究推進体制

「算数指導研究部会」「理科指導研究部会」「授業研究部会」「情報研究部会」の4つの研究部会を設け、指導方法の検討や教材の開発、アンケートの計画や実施、ホームページの管理等を分担して取り組んだ。研究部会は毎月1回程度定期的に行った。また、研究推進委員会、研究推進全体会を毎月1回開き、全職員の共通理解のもと研究実践をした。

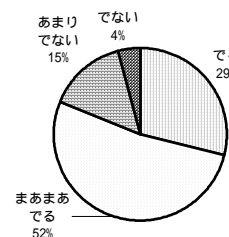
【算数指導研究部会】 習熟度別やチームティーチングの指導方法の検討や教材の研究	【理科指導研究部会】 ティームティーチングの指導方法の検討や教材の研究
【授業研究部会】 はげみ学習の計画と実施・研究授業の計画と実施	【情報研究部会】 ホームページによる情報発信とアンケート等の計画や結果の処理

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

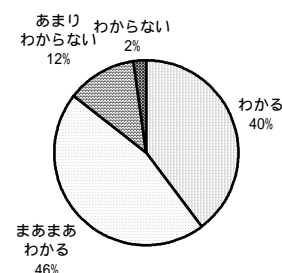
算数科での成果

4月に実施した教研式全国標準診断学力検査(NRT)の結果から「数と計算」「量と測定」などの領域で基礎学力不足がわかったため、各学年とも習熟度別コース学習を取り入れる単元を計画的に設定し、個を大切に授業実践を行うことができた。また、レディネステストの実施時期や内容を工夫することで、単元の指導計画や適切な指導方法の実践に生かすことができた。習熟度別の指導は差別感や児童の劣等感につながるのではないかと心配も、児童へのアンケート調査から「少ない人数で学習すると、やる気がでるか」「少ない人数で学習すると、勉強がよくわかるか」等の質問に肯定的に答える児童が多く、指導形態や指導方法等も受け入れられたように思う。



理科での成果

理科のチームティーチング指導では、実験や調べ学習の場面でさまざまな指導形態に対応することができた。複数の教師が意図的かつ効果的に指導を分担することで活動の幅が大きく広がった。また、教科担任と学級担任という組み合わせも教材開発や評価などいろいろな場面で効果的であった。「理科が好きになった」「楽しくてわかりやすい」という意見は、本実践に取り組むようになってからよく耳にする子どもたちの声である。



はげみ学習の成果

計算や漢字の反復練習を繰り返すことにより、「基礎となる学力」が次第に児童に定着してきている。このことが授業に生かされつつあり、児童の学習意欲の高まりにもつながっている。

今後も、子どもたち一人一人をしっかり見つめ、保護者の方々との連絡を大切にしながら習熟度別コース学習やチームティーチング指導の特性を生かした授業のあり方を研究していきたい。

2. 今後の課題

今後の課題として、次のような点をあげ次年度の研究実践に取り組みたい。

習熟度別学習における、補充学習や発展学習の適切な教材を開発する。

習熟度別学習において、3コースの特色をさらに明確にし、児童が適切なコース選択を行うための支援のあり方を考える。

理科のチームティーチング指導の有効な指導形態を考える。

学力の向上を客観的に把握できるよう検討する。

学力等把握のための学校としての取組

教研式全国標準学力検査（NRT）の算数科を4月に2年生～6年生で実施した。この検査では、前年度までの既習の学力がどの程度、児童に定着しているのかを把握するものである。この検査をもとに、算数科の総合的な力や領域別の力を学年・学級・個人別に把握し、担任はもとより少人数指導に関わる担当者が指導に生かせるようにしている。また、次年度4月にNRTを実施し、今年度の結果と比較し、学年としての伸びや個人の伸びなどを調査する。

10月に各学年で作成した算数科の学力テストを実施し到達度を把握することにした。本校で作成したテストのため全国等との比較はできないが、個人の到達度等を把握することができた。次年度は、CRTを実施し全国等との比較調査も実施する予定である。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

中島地方校長会で研究内容を報告

- ・ 日 時 12月10(水)
- ・ 場 所 平和町役場
- ・ 内 容 研究方針や内容、及び実践についての中間報告
- ・ 対 象 中島地方小中学校長

丹葉・中島地区協議会で今年度の研究のまとめについて発表

- ・ 日 時 1月23日(金)
- ・ 場 所 岩倉市総合体育文化センター
- ・ 内 容 研究発表
- ・ 対 象 丹葉・中島地区小中学校教務主任

中島地方公開授業

- ・ 日 時 1月29日(木)
- ・ 場 所 尾西市立三条小学校
- ・ 内 容 6年生算数科習熟度別指導、5年生理科チームティーチング指導の公開授業と講師に少人数指導についての講演
- ・ 対 象 中島地方の小中学校の教員

ホームページ開設による情報発信

- ・ 開 設 平成15年7月17日(木)

- ~~~~~
- | | | | | |
|----------------------|--|---|--|--|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | 7～12学級 | 13～18学級 | |
| | 19～24学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 25学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> TTによる指導 | 一部教科担任制 | その他 |
| 【研究教科】 | 国語 | 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
| | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 |
| | | | | 体育 |
| | | | | その他 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | | |